



▲走り終えた親子ランナーに声を掛ける千葉真子さん（右）



▲ハーフ女子総合2連覇の宮崎めぐみさん（後草）



▲仲良く親子でゴール



▲10kmスタート。まだまだ余裕の表情



▲新記録でハーフの部総合優勝の若松佑太さん（海上中出身）



▲ランナーに送る大きな声援

## 暖かな日差しの下2,257人が力走

### 第20回飯岡しおさいマラソン大会

「潮風とともに走ろう！」を掲げ、全国からランナーが集う飯岡しおさいマラソン大会が2月1日、いいおかコートピアセンターをスタート・ゴールとするコースで開かれました。親子の部やハーフの部など5部門に、80歳以上3人を含む2,257人が出場。ランナーは、沿道からの大きな声援や拍手に後押しされ、力強く海岸線を駆け抜けていきました。

また、今年は第20回を記念して、陸上長距離で活躍した千葉真子さんを特別ゲストとして招待。千葉さんは前日の講演会に続き、当日は親子の部などに参加し、軽やかな走りを披露してくれました。

### 種目別10位以内（市内在住者）

※敬称略

- 2km親子の部：1位/ショアイガジアニ アリアケバレ・岩井 間伴 7分59秒、4位/ユセフプール アブドラ・高橋歩汰 8分28秒、7位/伊藤正治・浩志 8分51秒、9位/加藤修・聖也 9分
- 3km小学生男子の部：2位/鷺山桂太朗 11分5秒、5位/田向孝至 11分18秒、9位/林寛昌 11分42秒
- 3km小学生女子の部：3位/加藤瑠菜 12分1秒、4位/大木亜美 12分6秒、6位/川口瑞希 12分35秒
- 5km中学生男子の部：4位/川上克真 17分29秒、7位/熊本将成 17分46秒、10位/菊間勇太 18分13秒
- 5km中学生女子の部：8位/山崎菜未 19分49秒、9位/鷺山暖佳 20分12秒、10位/椎名あゆみ 20分24秒
- 5km39歳以下男子の部：2位/松下弘大 16分14秒、4位/平岩和真 17分3秒、5位/浪川優 17分14秒
- 5km40～59歳以下男子の部：5位/岩崎良雄 19分19秒、6位/常世田利男 19分46秒
- 5km39歳以下女子の部：2位/伊藤愛 18分45秒、10位/江波戸智恵 23分15秒
- 5km40歳以上女子の部：10位/宮内幸江 27分4秒
- 10km29歳以下男子の部：7位/来栖寛明 35分35秒、9位/石川裕也 39分8秒
- 10km40～49歳以下男子の部：2位/伊東重和 37分31秒
- 10km39歳以下女子の部：10位/東靖代 52分52秒
- ハーフ29歳以下男子の部：9位/高野雄介 1時間17分16秒
- ハーフ39歳以下女子の部：1位/宮崎めぐみ 1時間22分20秒、9位/鈴木なえ子 1時間45分31秒
- ハーフ40歳以上女子の部：4位/神田知恵子 1時間39分58秒



## 高校生ライダー 世界へ挑戦

### 全日本ロードレース選手権 優勝

匝瑳高校3年の富沢祥也さんが、オートバイロードレースの最高峰、世界選手権シリーズに参戦するという快挙を成し遂げました。

富沢さんは、昨年10月6日、岡山国際サーキットで行われた「全日本ロードレース選手権GP250クラス」で念願の初優勝を飾り、年間総合ランキングでも堂々の第2位を獲得。その実績と実力が認められ、高校卒業を機に活躍の場を世界へと広げることが決まりました。

世界選手権は、1年を通じて、世界14か国で開催、日本へ戻ることはほとんどないと

▶高校生らしい明るい笑顔の富沢祥也さん（江ヶ崎）



▲サーキットを疾走する富沢さん。最高速は260kmを超えるという...

のこと。富沢さんは単身で海外へ渡ることについて、「言葉の壁はあるけれど、これからはバイクのことだけ考えられるから幸せです。これまで支えてくれた人たちや応援してくれている人たちのためにも、良い成績を残せるようがんばります」と笑顔で話していました。

## 中央病院新本館の建設工事が開始

### 旭中央病院新本館建設工事起工式

再整備を進める旭中央病院で1月30日、新本館建設工事の起工式が開かれ、市長をはじめ来賓や工事関係者ら80人が参列する中、工事の安全や無事に完成することを願う神事が、厳かに行われました。



▲名前を呼ばれ玉ぐしをささげる参列者

## ずっと続けていたいね音楽

### 第4回グリーンコンサート



▶ピアノに合わせてソプラノサクソフンを演奏

日ごろから、音楽を勉強している人や趣味で楽しんでいる人たちがその成果を発表するグリーンコンサートが、1月25日、東総文化会館小ホールで開かれました。

今年で4回目となるこのコンサートは、小学生から社会人まで参加者も幅広く、演奏する楽器もさまざま。この日のために練習してきた曲を、一生懸命演奏していました。また、今年も、第1回目のグリーンコンサートにも出場し、現在、歌の指導などを行っている片山陽子さんがゲストで出演し、コンサートに花を添えました。

## 海上マリンキッズが優勝

### 第5回イヤーオブザコーチ記念大会

1月17日、18日の2日間、海上コミュニティ運動公園野球場を中心に市内4会場で、少年野球大会が開催されました。第5回を迎えたこの大会は、旭市、銚子市、匝瑳市、東金市、神栖市から12チームが参加。17日の予選リーグを勝ち上がった4チームが決勝トーナメントに進み、いずれも旭市のチームである海上マリンキッズと干潟メッツが決勝を戦いました。

熱戦の結果、4対1で海上マリンキッズが優勝し、優勝杯とメダルを手に入れました。また、最優秀選手には石毛敦也君が選ばれ、記念のトロフィーが贈られました。



▲最優秀選手に選ばれた石毛敦也君（最前列左から2番目）と海上マリンキッズの子どもたち